

千葉県

精神障害のある方が安心して自分らしく暮らすことができる地域包括ケアシステムの構築を目指して

千葉県では、障害保健福祉圏域（13圏域）毎に保健・医療・福祉・当事者・行政等による協議の場を設置し、各圏域の実務者会議で検討を重ね、代表者会議で検討した取組方針を受け、地域の実情に応じた取組をすすめていくこととしています。

引き続き関連施策として、精神障害者地域移行・地域定着協力病院認定事業、相談支援従事者専門コース別研修（精神障害者支援）事業、精神障害者ピアサポート専門員養成研修事業、社会復帰促進事業（地域障害者交流会）、障害者グループホーム等支援事業（県単独事業）、中核地域生活支援センター事業（県単独事業）、精神科救急医療整備事業等を展開予定です。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

取組内容

千葉県



取組内容

- 千葉県総合支援協議会
- 精神障害者地域生活支援専門部会
- 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業
- 精神障害者地域移行・地域定着協力病院認定事業
- 相談支援従事者専門コース別研修（精神障害者支援）事業
- 千葉県精神障害者ピアサポート専門員養成研修事業
- 社会復帰促進事業（地域障害者交流会）
- 障害者グループホーム等支援事業
- 中核地域生活支援センター事業
- 精神科救急医療システム整備事業 など

障害保健福祉圏域数（R 8 年 4 月時点）			1 5		か所	
市町村数（R 8 年 4 月時点）			5 3		市町村	
人口（R 8 年 4 月時点）			5,286,754		人	
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）			4 4		病院	
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）			10,809		床	
入院精神障害者数 （R 7 年 6 月時点）	合計		8,827		人	
	3 か月未満（％：構成割合）		1,716		人	
			19.4		％	
	3 か月以上 1 年未満 （％：構成割合）		1,363		人	
			15.4		％	
	1 年以上（％：構成割合）		5,748		人	
			65.1		％	
	うち 6 5 歳未満	2,229		人		
	うち 6 5 歳以上	3,519		人		
退院率（R 3 月年時点）※千葉県も含む	入院後 3 か月時点		67.6		％	
	入院後 6 か月時点		81.5		％	
	入院後 1 年時点		88.4		％	
心のサポーター養成者数（R 8 年 3 月末時点）※千葉県も含む			1,249		人	
相談支援事業所数 （R 8 年 4 月時点）	基幹相談支援センター数		54		か所	
	一般相談支援事業所数		252		か所	
	特定相談支援事業所数		566		か所	
保健所数（R 8 年 4 月時点）			1 5		か所	
（自立支援）協議会の開催頻度 （R 7 年度）	（自立支援）協議会の開催頻度		4		回／年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無		有			
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R 7 年 1 2 月時点）	都道府県	有	1		か所	
	障害保健福祉圏域	有	1 5	／	1 5	か所／障害圏域数
	市町村	有	4 4	／	5 3	か所／市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要①（全体）

1. 精神障害のある方が、安心して自分らしく暮らすことを目指し、「千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を官民協働により推進していきます。

①障害保健福祉圏域ごとに、地域特性に応じた以下の事業を実施します（選択制）。

- ・精神保健医療福祉体制の整備に係る事業（R7年度実績：13/13圏域）
- ・普及啓発に係る事業（R7年度実績：13/13圏域）
- ・住まいの確保や居住支援に係る事業（R7年度実績：7/13圏域）
- ・当事者・家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業（R7年度実績：12/13圏域）
- ・精神医療相談・医療連携体制の構築に係る事業（R7年度実績：5/13圏域）
- ・障害者等の地域生活支援に係る事業（R7年度実績：9/13圏域）
- ・地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業（R7年度実績：111/13圏域）
- ・市町村等における相談支援体制の構築支援に係る事業（R7年度実績：6/13圏域）
- ・その他、地域特性に応じ必要とされる事業（R7年度実績：2/13圏域）

②障害保健福祉圏域ごとに、地域ニーズに応じた事業を検討・評価する以下の会議体を開催します。

- ・代表者会議（年1回程度）
- ・実務者会議（月1回程度）

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要②（全体）

2. 県では、以下の関連施策を継続実施します。

①精神障害者地域移行・地域定着協力病院認定事業（R7年度実績：26病院認定）

地域移行・地域定着支援に協力的な病院を認定していきます。

②相談支援従事者専門コース別研修（精神障害者支援）事業（R7年度実績：95名終了）

障害のある人やその家族等からの相談に応じる相談支援従事者等を対象に、国より必須とされている研修以外の専門的研修等を行うことにより、相談支援従事者の専門的知識の取得、スキルアップ等を目指していきます。

③障害者ピアサポート専門員養成研修事業（R7年度実績：49名終了）

自らの当事者性を活かしながら他の当事者を支援する「ピアサポート専門員」を養成し、研修終了後に雇用されることを目指していきます。

④社会復帰促進事業（地域障害者交流会）（R7年度実績：3回開催延110名参加）

当事者、企業、障害福祉関係団体職員等を対象とし、情報共有や社会参加の機会創出を目指していきます。

2. 県では、以下の関連施策を継続実施します。（つづき）

⑤障害者グループホーム等支援事業

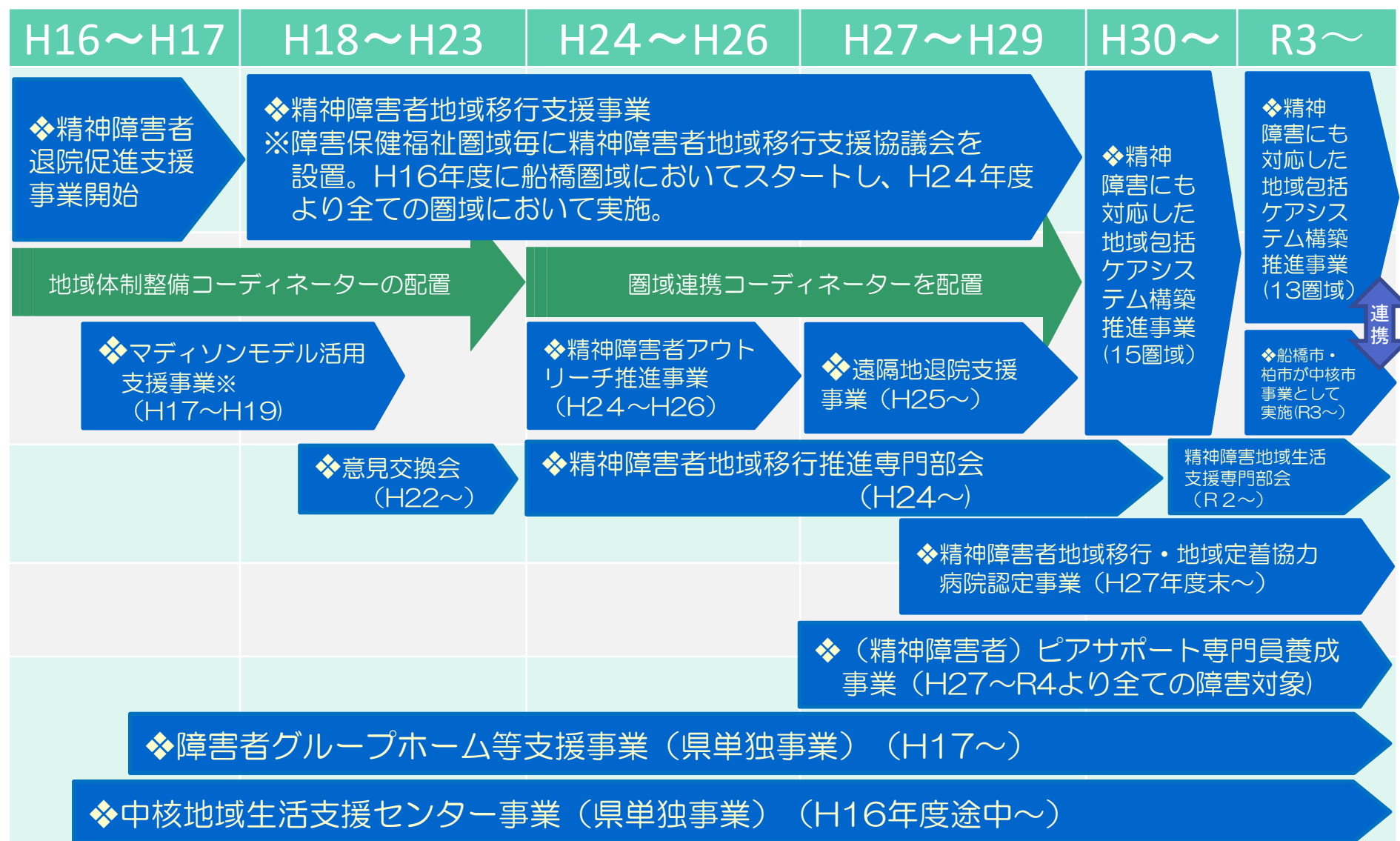
障害保健福祉圏域ごとに障害者グループホーム等支援ワーカーを配置し、グループホーム等のバックアップ体制を強化し、その量的拡充と質的向上を図り、グループホーム等で暮らす障害者の生活の質の向上と、施設入所者、在宅障害者等のグループホーム等を利用した地域生活への移行の促進を目指していきます。

⑥中核地域生活支援センター事業

障害保健福祉圏域ごとに、子ども、障害者、高齢者等、誰もがありのままに、その人らしく地域で暮らすことができる地域社会を実現するため、中核地域生活支援センターを設置し、24時間365日体制で福祉サービスのコーディネート・福祉の総合相談・権利擁護を行い、地域住民の福祉向上を図っていきます。

⑦精神科救急医療システム整備事業

精神症状の急激な悪化等の緊急時における適切な医療の機会を確保できるよう、「千葉県精神科救急医療システム」により、夜間休日の精神医療相談に応じ、精神科救急医療を提供する医療機関相互間の連携を確保するための体制整備を図っていきます。



※「マディソンモデル活用支援事業」・・・米国ウィスコンシン州のデー郡成人精神保健システムをモデルとした、千葉県単独の「障害のある方がその人らしく地域で暮らせる社会を作ること」を目的とした事業。クラブハウス、クライシスハウス、ACT、就労支援コーディネーター等の社会資源について、モデル圏域で創設した。

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①障害保健福祉圏域ごとに、代表者会議を設置し、開催する。	13圏域	13圏域	県障害者福祉推進課、精神保健福祉センター、保健所、市町村、受託事業所が連携し、取組を継続することができた。
②障害保健福祉圏域ごとに、実務者会議を設置し、開催する。	13圏域	13圏域	県障害者福祉推進課、精神保健福祉センター、保健所、市町村、受託事業所が連携し、取組を継続することができた。
③各圏域で前年度まで行ってきた取組を継続する。	13圏域	13圏域	県障害者福祉推進課、精神保健福祉センター、保健所、市町村、受託事業所が連携し、取組を継続することができた。

＜取組例＞

- 精神科病院職員向けの地域社会資源見学会の開催
- ピアサポーターによる関係職員や学生等を対象にした体験談の発表
- 圏域内の社会資源を紹介する集いの開催やリーフレットを作成し、関係機関へ配布
- 管内精神科病院の長期入院患者の実態調査の実施
- 家族に向けた研修会の実施や交流の機会の提供
- 介護支援専門員向けの精神障害に関する研修の実施
- 映画「どうすればよかったのか？」上映プロジェクト など

習志野圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	3	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	492,482	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	6	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	1454	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
① 代表者会議の実施	0 回	1 回	三市合同実務者会議を本年度に 2 回（ 7 月・ 11 月）の実施報告。三市で取り組んだ支援者研修としてシンポジウムを開催したことを等を報告。
② 3 市合同実務者会議の実施	0 回	3 回	第 1 回目は、昨年度の取り組み内容の共有とそこから見える課題の抽出。 第 2 回目は、各市の協議の場についての運営方法や構成メンバーの選定方法の共有、次年度以降の三市の協議の場についてメンバーや協議内容の確認を行った。 当日参加できなかったメンバーがいたため、改めて第 3 回を実施した。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
切れ目のない支援体制の強化	多職種連携の強化するため、医療機関、行政、福祉サービス事業者、家族会などが連携するため、情報を共有する。	保健	介護保険と障害福祉サービスの連携強化し65歳到達後の必要なサービス利用へのつばぎや認知症などの高齢化に伴うニーズに対応
		医療	法改正に伴い業務の負担増加。負担軽減をし患者とのコミュニケーションをとる時間の確保が課題。医療機関職員への制度の理解促進。
		福祉	自身の意志を表明しやすい環境づくり、権利擁護の推進。児童子育て世帯等の多くの問題を抱えた方への支援、
		その他関係機関・住民等	精神障害者に対する偏見の解消。家族支援への充実。地域住民への制度の周知。市域を超えた連携や他領域（福祉と住居とか）にまたがる課題への対応

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①実務者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
② 3 市合同実務者会議の実施	0 回	3 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	三市の取組の共有、次年度の取り組む方向性の共有	（代表者会議） 年1回の開催。各自治体の取り組み次年度以降の方向性の確認を行う。事業開始当初からの課題である、①退院後を見据えた医療と地域の連携、②他問題重複問題を抱えるケースへの支援、③市域を超えた連携を圏域の課題を重点課題として協議を行い、昨年度、事業推進のために圏域の実務者会議のあり方の検討を行うことを確認。
	医療：医療機関、			
	福祉：市役所、相談支援事業所、基幹相談支援センター、地域包括支援センター、			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、中核地域生活支援センター			
実務者会議 （3市合同も含む）	保健：保健所、	10	①入院中から退院後を見据えた地域と医療の連携体制作り②個人や世帯で複数の課題を抱え、複合的な支援を必要とするものへの支援③市域を超えた関係機関との連携を課題として継続検討を行う	（実務者会議） 圏域の課題である3点を継続課題として、前年度から引き続き検討を行っていることを、各自治体での実務者会議を開催。代表者会議に上がった圏域の実務者会議のあり方も検討を行う。
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：市役所、相談支援事業所、就労支援事業所、基幹相談、			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、教育関係、中核地域生活支援センター			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

市川圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	2	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	677,793	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	3	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	815	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	地域課題の共有や、立場（医師・家族会など）が異なる立場で見える地域課題の聴取を行い、次年度の取り組み内容の協議を行った。
②実務者会議	0回	4 回	本地域の地域課題に資する協議・研修会を実施した①「R6年度市川保健所の業務実績」「地域における保健所の役割」②「リカバリーフォーラムとは」③「地域移行 座談会」④「代表者会議の報告」「R7年度活動報告・次年度計画案の共有」「市町村障害者計画・障害者計画策定に向けての地域課題の整理」

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】 歴史的に精神科病院が根ざした地域であり、千葉県マディソンモデル活用支援事業等の実践で地域福祉の土壌が熟成されてきた。現在でも行政・地域福祉事業者・医療機関等、所属機関の垣根を超えたつながりが強く、多機関で地域づくりの動きが展開されている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
・長期入院者の退院促進のための地域づくり ・地域で住み続けるための支援体制の構築	・圏域内の関係機関と協議の継続 ・圏域と市の協議の場の活動の連動性 ・市の協議の場において、地域に即した活動の実践を積み重ねる	保健	・市の精神保健福祉に関する相談対応の後方支援 ・市の協議の場のバックアップ体制
		医療	ピア(「なかまの環」活動)と連携を図り、入院患者・職員向けの訪問活動、プログラムの提供 地域と病院との連携について検討する機会の確保(病院見学・社会資源見学会・研修)
		福祉	地域と病院との連携について検討する機会の確保(病院見学・社会資源見学会・研修) 自立支援協議会と連動した地域課題（相談支援専門員不足、相談支援体制整備・支援者の質 等）への解決策等の検討。
		その他関係機関・住民等	グループホーム等支援ワーカー等と連携し、精神障害の方、長期入院の方をグループホームで受け入れるにあたって必要な支援体制やノウハウなどを共有。 社会資源の周知（市川・浦安地域の精神保健福祉に関するご案内）

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	1 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	4 回	4 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	年度活動報告・各市における協議の場の報告・医療機関の現状・課題の共有 次年度の取り組む方向性の共有・検討 等	
	医療：医療機関、			
	福祉：市役所、			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、中核地域生活支援センター			
実務者会議	保健：保健所、	4	地域課題についての協議・研修の実施 等	圏域で取り上げているトピックを、圏域内の市の協議の場・自立支援協議会にて、どのように市の動き(市町村障害者計画・障害福祉計画への位置づけも含めて)として落とし込むか
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労支援事業所、基幹相談支援センター、			
	その他関係機関・住民等：ピアサポーター、当事者、家族、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください
 市町村の協議の場設置・今後の運用について、市町村の担当者と協働して進めているが、市としては「市町村の協議の場の設置」の法的根拠が薄く、予算取りなど必要な措置を取りにくいという意見が出ている。

松戸圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	3	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	848,864	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	1	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	308	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	
②実務者会議	0回	5 回	
③			

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
地域移行・定着を図る上で医療・福祉・介護をつなぐ実務的なハブとして訪問看護への期待。 地域住民への普及啓発。 グループホームは、重要な基盤である一方、支援の質や対応力にばらつきがある。 市町村職員等の問題の抱え込み。	松戸市・流山市の理解を得た上で、障害理解の基礎的研修を継続的に実施する。研修内容は、専門的知識の習得を目的とするものではなく、「一人で抱え込まず、適切な部署や関係機関につなぐための考え方や対応の整理」に重点を置く。 市町村職員向け簡易パンフレット（A4面程度）の作成を行う。	保健	介護従事者や高齢者施設職員を対象とした研修を以降の目標とし、課題の抽出を含めたアンケートを実施する。精神障害を有しても、同じ地域で安心して生活できる環境を目的に相互理解を得るための材料抽出を目的とする。
		医療	訪問看護連絡協議会との情報共有・意見交換の場を持ち、相談体制の構築を図る。
		福祉	障害福祉サービス等の利用勧奨。申請手続きの同行や関係機関との調整。
		その他関係機関・住民等	啓発の目的は、理解の深化にとどまらず、「不調を感じた際に早期に相談してよいこと」「相談先が身近に存在すること」を周知することに置く。 グループホーム等支援ワーカーと精神障害の特性理解を中心に合同の研修会を実施するなど、現場で対面する支援者に対してのフォローアップを含めた研修会を検討する。
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	5 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	①家族支援の継続実施②ピアサポーター交流会の継続実施③精神障害者の高齢化について④支援者向け研修会の実施について等方向性について協議	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：市役所、相談支援事業所、就労系事業所、基幹相談支援センター、			
	その他関係機関・住民等：家族、中核地域生活支援センター			
実務者会議	保健：保健所、	5	圏域内における家族向けの研修、ピアサポーターの実情においての意見交換・普及啓発活動の実施を検討。そのほか、ピアサポーターを中心に計6回企画検討を図る。	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労支援事業所、基幹相談支援センター、基幹相談支援センター、地域包括支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

野田圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	1	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	151,320	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	3	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	823	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 （R 7 年度当初）	実績値 （R 7 年度末）	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	
②実務者会議	0回	6 回	
③			

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
グループホームへの理解の促進 退院の促進 介護事業所職員の疾病理解 地域住民への周知	研修会や交流会、意見交換会の実施、精神保健福祉マップの作製	保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	6 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	①今年度実施事業に関する検討②次年度の事業、および体制に関する検討 ③各事業所からの情報提供、圏域の課題の確認、整理	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：市役所、相談支援事業所、基幹相談支援センター、地域活動支援センター、			
	その他関係機関・住民等：家族、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			
実務者会議	保健：保健所、	6	精神保健福祉マップ作成に関する検討、各機関の情報共有と圏域の課題の整理、今年度の取り組みについてや次年度の取り組みについての協議	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労支援事業所、基幹相談支援センター、基幹相談支援センター、地域包括支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

印旛圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。
※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。
※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。
※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	7市2町	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	683,321	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	7	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	3,261	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 （R 7 年度当初）	実績値 （R 7 年度末）	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	
②実務者会議	0回	4 回	
③			

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
家族会の高齢化、会員の減少、親なき後の不安 ピア経験を生かす場 多職種連携 高齢の精神障害者や発達特性への対応 顔を見える関係づくりの継続 グループホームの活用	実務者会議場での共有。 対象者への講話等実施 ピアサポートグループへの運営支援 大学との連携 研修会の実施	保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	5 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度事業報告、各市町における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築における協議の場の運営状況の報告、次年度の事業計画について検討	
	医療：医療機関、			
	福祉：市役所、基幹相談支援センター、地域活動支援センター、			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、中核地域生活支援センター、			
実務者会議	保健：保健所、	4	代表者会議ででた課題について意見交換等実施	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労支援事業所、基幹相談支援センター、地域活動支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、教育、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

香取圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。
※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。
※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。
※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	1市3町	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	95,739	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	1	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	180	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	実務者会議にて協議した内容をさらに専門的な知見を有した代表者の意見をいただき、精神障害者にとって暮らしやすい地域づくりに資することができた。
②実務者会議	0回	5 回	当事者や家族、支援に携わる専門職がテーマを決めて話し合うことにより、精神障害者が暮らしやすい地域づくりに資することができた。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
入院患者の高齢化 地域住民への普及啓発	地域生活について案内、高齢分野機関との連携、高校との連携、ピアサポーター講座や交流会の実施、冊子の作成、作成物のホームページでの展開、	保健	ピアサポーターへの支援 集える場の提供
		医療	治療及び服薬の調整・管理等の相談
		福祉	福祉に関する情報やサービスの提供
		その他関係機関・住民等	地域住民への啓発活動

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	5 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	代表者のメンバーに専門的な知見を有する方を入れており貴重な意見をいただけるが、専門家の方々の多忙化により、会議の開催が年1回と限られてしまっている。
	医療：医療機関、訪問看護			
	福祉：市役所、相談支援事業所、			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、中核地域生活支援センター、			
実務者会議	保健：保健所、	5	代表者会議で決めた課題について意見交換等実施	地域の当事者、家族会、支援に関わる事業者、行政機関のメンバーが顔の見える関係になっており連携が密に行える半面、会議参加者が固定化しており、新しい意見や考えが生まれにくいという課題がある。
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労支援事業所、基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、教育、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

海匠圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	3	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	143,081	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	4	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	659	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	1 回	1 回	ReMHRADデータを活用。圏域の課題について協議し、介護との連携、施設見学等の実施することとなった。
②実務者会議	6 回	6 回	関係機関の理解の促進も含め、就労継続支援A型事業所の見学等を実施できた。入院患者等の当事者も見学に参加。
③事務局会議	5 回	5 回	住まいの場の確保についてピアサポーターと関係機関で不動産会社を訪問。理解を広めることに繋げている。家族会の参画も行っている。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
高齢精神障害者の支援 ピアサポーターのさらなる活用 住まいの場の確保 就労について	市民向け公開講座の実施、学生への普及啓発、地域への発信、不動産会社への訪問、当事者交流会の実施、家族会支援、連携を目的として勉強会や意見交換会の実施、就労系事業所への見学、	保健	受託事業所と連携を図り協議の場、各事業の実施。
		医療	精神科医療機関よりソーシャルワーカー等が参加。地域課題について協議、共有を行っている。
		福祉	圏域コーディネータとしての各種役割や地域の福祉施設、事業所が参加。地域課題の協議、共有を行っている。
		その他関係機関・住民等	ピアサポーターや家族会が参加し、当事者の立場からの意見や提案を行っている。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	地域課題等について従来の支援に加え、状況に合わせた取り組みを行えるようにしていく。各関係機関で介護との連携を深める。
②実務者会議	2 回	1 1 回	各関係機関にて情報を共有しながら、課題に取り組むことでができる。各関係機関や介護との連携を深めていく。

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	にも包括のプロジェクトを通じた課題として、関係機関の取り組みの幅がある。興味、関心を深めてもらいながら、各課題への連携を深めていきたい。
	医療：医療機関、訪問看護			
	福祉：市役所、相談支援事業所、就労系事業所、地域活動支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、中核地域生活支援センター、			
実務者会議	保健：保健所、	11	代表者会議で決めた課題について意見交換等実施	代表者会議での協議や課題を共有。家族会やピアサポーターを含め、関係機関と連携を深めながら取り組んでいくことができる。現場レベルでの共有も行い、日頃から課題に取り組める関係性を深めていく。
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労系事業所、基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、中核地域生活支援センター			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

圏域の課題に対しては協議し、課題改善に向けて具体的な対策等が図れているが、「市」単位の課題（地域生活支援拠点との連携など）について、推進に向けた具体的な取り組みと検討等が難しく悩む。

山武圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	3市 3 町	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	186,433	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	1	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	300	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	
②実務者会議	0回	7 回	
③			

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
グループホームや自宅等へ退院促進。 ピアサポーターの活用。 家族支援 住まいの確保	病院等で行われる毎月の施設会議に参加し情報共有を行う。 ピアグループの開催やピアサポート交流会の実施。病院デイケアでのピアグループ活動の支援を行う。 家族会支援、研究会や勉強会の実施 グループホーム立ち上げ協力	保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	7 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	
	医療：医療機関			
	福祉：市役所、基幹相談支援センター、就労系事業所			
	その他関係機関・住民等：当事者、教育、中核地域生活支援センター			
実務者会議	保健：保健所	7	代表者会議ででた課題について意見交換等実施	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労系事業所、基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、教育、中核地域生活支援センター			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

長生圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	1市6町	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	108,791	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	2	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	382	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	病院長や自治体の課長等、参加者に当 事業の意義が伝わった。
②実務者会議	0回	8 回	長年に継続して行っていることで顔の 見える関係が出来、日常業務の連携が 容易になっている。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
退院先に関すること 地域住民への普及啓発 他分野にまたがる支援者の 技術支援、連携 当事者活動の支援	リーフレットの作成 フォーラムの実施 研修、事例検討会、意見交換会の実施	保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①実務者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みにつ いて意見交換
②代表者会議	0 回	7 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：市役所、基幹相談支援センター、就労系事業所、地域包括支援センター地域活動支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、家族、教育、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			
実務者会議	保健：保健所	8	代表者会議で決めた課題について意見交換等実施	
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：相談支援事業所、就労系事業所、基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等：家族、教育、中核地域生活支援センター			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

夷隅圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	2市2町	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	60,897	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	1	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	305	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	1回	1 回	本事業の理解を深め、ピアサポートミーティングの実施報告を共有。①人材、職員のメンタルヘルス②地域連携③資源不足④多様なケース対応⑤普及啓発、以上の課題を再確認。
②実務者会議	4回	4回	①事業説明と各事業所の報告(連携強化)②高次脳機能障害の理解③障害理解の講義とグループワーク④講話（保護者の視点に学ぶ）
③ピアサアポートミーティング	12回	12回	生活者としての苦労の共有の場として活動。地域の開かれた場の定着。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】互いに顔の見える関係性ができていて様々な協議ができる地域であること

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
ピアサポートミーティングについて 学生に向けての障害の理解を深めてもらう方策について 支援者の対応力の向上 圏域内事業所間との連携	ピアサポートミーティングを実施 高校と連携して講話を実施 研修の実施 事業所間の協同を目的とした準備会の設立	保健	事業所等と日々のつながりを通して困難な状況におかれた方の支援連携ができること
		医療	専門的な知識をもとに生活支援にあたる事業所等と連携ができること
		福祉	当事者のより良い生活支援を目指した連携ができること。家族や支援者のメンタルについても互いに考えられること
		その他関係機関・住民等	高等学校において生徒が精神障害への理解や関心を深め、自分を大事にし、また暮らしやすい地域づくりを考える機会をつくる

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	4 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	課題は主に①人材、職員のメンタルヘルス②地域連携③資源不足④多様なケース対応⑤普及啓発 各機関や事業所間の連携は日ごろから一定程度できている。互いに相談しやすい関係性があることは強み。
	医療：医療機関、訪問看護、			
	福祉：市役所、基幹相談支援センター、就労系事業所、地域包括支援センター地域活動支援センター			
	その他関係機関・住民等：家族、教育、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー、警察			
実務者会議	保健：保健所	4	代表者会議で決めた課題について意見交換等実施	2市2町で広範囲の圏域となる。資源が少ないながらも新たな障害サービス事業所も立ち上がっており、従来からある事業所も含めた地域連携（顔の見えるつながり）がある。それぞれの困りごとを協議できる素地はあり、今後も維持、強化していきたい。 運営のための準備会を適時開催できていることは強み。
	医療：医療機関			
	福祉：相談支援事業所、就労系事業所、基幹相談支援センター、地域活動支援センター			
	その他関係機関・住民等：家族、教育、中核地域生活支援センター、グループホーム支援ワーカー			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください
今年度から受託したため、まだ見えていない困りごとがこれから生じるかもしれませんので、その際は相談させてください。

安房圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	3 市1町	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	108,854	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	4	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	718	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 （R 7 年度当初）	実績値 （R 7 年度末）	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	
②実務者会議	0回	9 回	
③			

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
地域住民への普及啓発 ピアサポートの理解・活用 促進 成年後年制度の活用	安房地域こころの健康の集いを開催 情報共有、周知活動の実施 制度活用への周知	保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	9 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	
	医療：医療機関			
	福祉：市役所、地域活動支援			
	その他関係機関・住民等：中核地域生活支援センター			
実務者会議	保健：保健所	9	代表者会議ででた課題について意見交換等実施	
	医療：医療機関			
	福祉：相談支援、地域活動支援			
	その他関係機関・住民等：当事者、教育			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

君津圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 3 月時点）	4	市町村
人口（R 8 年 4 月時点）	317,441	人
精神科病院の数（R 7 年 7 月時点）	2	病院
精神科病床数（R 7 年 7 月時点）	581	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1 回	
②実務者会議	0回	6 回	
③			

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
居場所づくり 若者への普及啓発 ピアサポーターの活用	居場所カフェの実施 教員への普及啓発、ちらしの作成、 当事者研究全国交流会のサポートの実施 事例をもとにした意見交換会 支援者向け研修会の実施	保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	0 回	6 回	上記課題解決に向けての意見交換等の実施

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	
	医療：医療機関			
	福祉：市役所、基幹相談			
	その他関係機関・住民等：家族、中核地域生活支援センター			
実務者会議	保健：保健所	6	代表者会議ででた課題について意見交換等実施	
	医療：医療機関			
	福祉：相談支援事業所、基幹相談			
	その他関係機関・住民等：家族、中核地域生活支援センター			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

市原圏域

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（Ｒ８年３月時点）	1	市町村
人口（Ｒ８年４月時点）	260,095	人
精神科病院の数（Ｒ７年７月時点）	2	病院
精神科病床数（Ｒ７年７月時点）	369	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜Ｒ７年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 （Ｒ７年度当初）	実績値 （Ｒ７年度末）	具体的な成果・効果
①代表者会議の実施	0回	1回	・圏域における精神科医療の課題と福祉制度における課題のすり合わせを行いながら、双方の立場を理解することが出来た
②実務者会議	0回	6回	・圏域における精神科医療の課題と福祉制度における課題のすり合わせを行いながら、双方の立場を理解することが出来た

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
学生への普及啓発 地域住民への普及啓発 居住問題 支援者のスキルアップ	大学、高校での講話の実施 市原精神保健福祉フェスタの実施 市役所住宅政策課との意見交換 地域ネットワークの構築 研修の実施	保健	包括支援センターや知的の社会福祉法人においても精神保健福祉手帳を持っている方への対応をしてくれる支援者は一定数確保したと思う。一方課題として疾病等の揺らぎに対してそのメカニズムの理解の促進が課題である。
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会議	0 回	1 回	上記課題解決および次年度の取り組みについて意見交換
②実務者会議	1回	6 回	予防の概念の理解の促進のため実務者会議内にて0～3次予防の4段階毎の役割分担について協議していく会議を設けていきたい

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
代表者会議	保健：保健所、保健センター	1	今年度の活動報告、次年度の計画について協議検討	3障害一元化の課題の中で精神障害者の福祉サービスはだいぶ増えているが、一次予防、2次予防などの概念の普及が進まない。
	医療：医療機関、薬剤師、精神科医			
	福祉：共生社会推進課、障がい者支援課			
	その他関係機関・住民等：家族、中核地域生活支援センター、就業・生活支援センター、民生委員、宅建協会			
実務者会議	保健：保健所、保健センター	6	代表者会議ででた課題について意見交換等実施	・当圏域においてはメンタルヘルスに課題を抱えた対象者の支援として、重層的支援体制整備事業の採択をされており、そこが市の福祉総合相談とセットで実施しているが行政間の横連携に課題が残る。 ・福祉に寄ることで疾病の理解が脆弱になることが課題
	医療：医療機関			
	福祉：共生社会推進課、障がい者支援課、相談支援事業所、地域包括支援センター、基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等：当事者、中核地域生活支援センター、就業・生活支援センター			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

- ・医療経済と福祉行政の融合について
- ・社会保障制度の一元化におけるメリット、デメリットなどの総論
- ・精神保健法を変えてまでも成し遂げたい相談支援体制の経済的基盤の裏付けは？